

テーマ：北方領土（実践校）

日高管内 新冠町立新冠中学校

■本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、北方領土に係る調べ学習、北方領土学習事業（「ジョバンニの島」上映北方領土学習会）、北方領土の元島民の方の講話を通して、収集した情報を基に、学級で発表し合うなど、北方領土問題について探究的な学習を展開しました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

社会科の地理的分野で学習した北方領土の地理的環境や歴史についての内容を基に、北方領土の現状や今後について考える探究的な課題を設定しました。

(2) 情報の収集

インターネットや北方領土期成同盟作成資料などを活用し、北方領土に関する「元島民の体験談」「ビザ無し交流」情報を収集した後、元島民の松本侑三先生を講師とした、当時の択捉島の自然環境と生活の様子や、元島民のふるさとに対する思いについての講話と、「ジョバンニの島」上映北方領土学習会を通して、元島民の心情や北方領土問題の本質的な課題について考えました。

(3) 整理・分析

収集した情報や講話、「ジョバンニの島」の鑑賞を通して考えたことを基に、島民や国際社会の一員としてなど、様々な立場から、北方領土問題の解決方法や未来の在り方について考え、グループで協議することで、自分の考えを深めました。

(4) まとめ・表現

学習の成果として、グループで調べたり、協議したりした内容を、ホワイトボードにまとめ、学級で発表し合い、北方領土問題の解決方法や未来の在り方について、理解を深めました。

②生徒の感想

- ・日本はこの状況に不満を抱えているので、北方領土を返還してもらった上で、日本人とロシア人が自由に行き来できるようになればいい。
- ・北方領土問題の、一番平和的な解決方法は、ロシア人と日本人と一緒に暮らせるようにすることだと思う。



【調べ学習の様子】



【元島民の松本先生の講話】



【グループ学習の様子】

■取組の成果（○）と課題（●）

- 北方領土問題の解決方法や未来の在り方について考える学習を行ったことにより、「今住んでいる地域の歴史や自然について関心が高まった」と、回答した生徒の割合が73%から90%に、「北方領土の自然や歴史、領土の返還についてもっと調べたい」と回答した生徒の割合が76%から98%に増加するなど、生徒のふるさとや北海道に対する誇りや愛情を育むことができました。
- 生徒が、元島民の講話の後に、「ジョバンニの島」の鑑賞したことにより、北方領土を身近なものとして考えるとともに、より深い問題意識の共有を図ることができました。
- 学習活動を展開するに当たり、講師から提供された資料の効果的な活用が十分にできなかったことから、学習活動を工夫し、調べ学習の際に活用する必要があります。